



広がる夢

子どもたちが心豊かでたくましい生き方を 自ら切り拓いていくために
「一人ひとりが生き生きと活動できる学校」を目指して

ひにんちのうりよく じゅうようせい がっこうきょういく いぎ 「非認知能力」の重要性と学校教育の意義

こうちょう たかはし ひでよし
校長 高橋 秀吉

さいきん ひにんちのうりよく ことば ちゅうもく ひにんちのうりよく
最近、「非認知能力」という言葉が注目されています。「非認知能力」とは、ペーパーテスト

はか ちしき よ か けいさん すうち はか のうりよく さ
で測れるような知識や読み書き・計算などではなく、数値では測れない能力を指しているよう

す。それは例えば、自尊心、自己肯定感、自立心、自制心、自信などの「自分に関する力」と、

いっぱんてき しゃかいせい よ きょうちょうせい きょうかん ちから おも しゃこうせい どうとくせい ひと
一般的には社会性と呼ばれる、協調性、共感する力、思いやり、社交性、道徳性などの「人

かか ちから
と関わる力」です。

はいけい ねん けいざいがくしょう じゅしょう がくしゃ
背景には、2000年にノーベル経済学賞を受賞したアメリカの学者ジェームズ・ヘックマンの

けんきゅう けいざいきょうりょくかいはつきこう けんきゅうせい か ひにんち てき こうろ
研究があります。OECD（経済協力開発機構）はその研究成果を踏まえ、「非認知」的な心

せいしつ しゃかいじょうちよ い か こうろ きそ
の性質を「社会情緒スキル（social and emotional skills）」と言い換え、こうした心の基礎を

み つ じゅうようせい しゅちょう ひにんちのうりよく たか きょうかがくしゅう
身に付けておくことの重要性を主張しています。つまり、「非認知能力」を高めると、教科学習

など み つ のうりよく の
等で身に付ける能力も伸びていくといえるでしょう。

ひにんちのうりよく にほん き むきょういくだんがい じゅうし おも
このような「非認知能力」は、これまで日本においては義務教育段階で重視してきたように思

います。実際に学級活動、委員会活動、学校行事、部活動等を通して、子どもたちは自己肯定感、

じせいしん きょうちょうせい おも はくく かにい ちいき きょういくりょく おお えいきょう
自制心、協調性、思いやりを育んできました。もちろんご家庭や地域の教育力も大きく影響

しているかと思いますが、「非認知能力」を高めるために学校教育の果たしてきた意義も大いに

かん か いま わたし たいせつ ちから
あると感じています。コロナ禍の今、私たちが大切にしてきたこれらの力と

きょういくかつどう さいにんしき あらた がっこうきょういく あ かた かんが おも
教育活動を再認識し、改めて学校教育の在り方を考えてみたいと思います。

ことしいねんかん がっこう ささ
今年一年間、学校を支えていただきありがとうございました。

